

とうきょう すくわくプログラム実践報告書(八王子市)

施設名	八王子市立千人保育園
-----	------------

1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然「身近な虫などを見よう、知ろう、飼ってみよう〜ヒキガエル〜」

<テーマの設定理由>

- ・園内に畑があり、野菜の栽培や収穫をしたり、虫探しをしたりできる環境があること。
- ・園周辺に公園や河原があり、園内外で自然に触れる機会があること。

2. 活動スケジュール

春…虫探しと観察（ダンゴムシ、テントウムシなど）

夏…虫探しと観察（バッタ、クモなど）

カブトムシの飼育（年長からのプレゼント）

キュウリの栽培、収穫

秋…ヒキガエルの捕獲、飼育、観察

→飼う日数など数字の概念がわかり始める

落ち葉やどんぐりなど、身近な自然物での製作

冬…虫探し

→冬は寒く、虫が草木のところにいないと気づく。畑の土の中で幼虫を見つける

氷作り

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

・図鑑 ・虫眼鏡 ・虫かご ・虫網み ・デジタルカメラ ・ビデオカメラ ・野菜の苗 ・氷づくりのカップ 等

・自然物集めは園周辺の公園へ散歩に行き、子どもたちと拾ったり、洗って乾かしたりして、製作の準備をした。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

春：捕まえたダンゴムシをバケツや虫かごに入れて観察、砂や土を入れて家を作る。
夏：年長児からカブトムシをもらい、餌のゼリーを変えたり霧吹きで土を湿らせたりと積極的に世話をする。夏の終わりにカブトムシが死んでしまう。
秋：園庭のタイヤの中にいたヒキガエルを見つける。図鑑で住处や餌を調べて飼う。こどもたちと相談し、数日飼ったのちに畑に逃がす。
冬：園庭の草木周辺で虫探しをするが、見つからず畑掘り幼虫を見つけて遊ぶ。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

・春から様々な自然の環境に触れて遊ぶことを楽しんできた。土や虫に触れることも慣れている子が多い。秋に見つけたヒキガエルは、クラスのこどもだけでなく、年上・年下児の興味へと広がった。

・カエルの赤ちゃんを見つけ、年下児に「ここにいたよ」と説明しながら観察する。図鑑や本を見ながら、カエルの種類やエサ、住处の様子を知った。生餌しか食べないことを知ると、「虫探してくる！」と、バッタやクモを捕まえて虫かごに入れていた。本の通りにカエルが隠れる場所を作るために、形の似た電車のトンネルを見つけ、虫かごに入れていた。

・捕まえた日の帰りの会で、いつまで飼うかの話し合いをした。カブトムシの飼育を思い出し、「カブトムシ、ずっと飼ってたら死んじゃったんだよね。」と呟いた子をきっかけに、カレンダーを見て、保育者とスケジュールを確認しながら飼えるに日数を考えた。「ご飯がないと死んじゃうかも。」「エサは、8（8日）までなら見つけれそう。」と責任を持って飼える日を決定した。

・ヒキガエルを飼っていることを聞きつけて、4歳児の男児も一緒に観察。「いいお家だけど、エサはバッタだと飛ぶから、食べないかもしれないよ。」と捕まえていたコオロギを虫かごの中に入れてくれ、一緒に観察をした。

・飼育最終日の給食時、「あんまり大きくならなかったね。カエルはどうやって大人になるんだろうね。」「夕方バイバイはさみしい。まだ飼いたいね。」「でも、お友だちやお母さんにも会いたいんじゃない？」「そうだね。じゃあ逃がそう。」と、ヒキガエルの話題で盛り上がっていた。夕方、一緒に観察をしていた4歳児たちも駆けつけ、「また会おうね〜！」と元気いっぱいにお別れをしていた。

・ヒキガエルの観察、飼育の中でカレンダーの数字に興味が出た子が多く、時計の数字に気づいたり、散歩に出かけて団地の棟番号を見たりと、園内外で数字を探して遊ぶ姿がある。





5. 振り返り

＜振り返りによって得た先生の気づき＞

・春からたくさん虫の採集や観察、飼育をする経験を経て、優しい触り方やお世話の仕方が身についてきた。中には飼う中で死んでしまう虫もいたが、特に言葉にしなくても子どもたちの中に印象深く残っており、ヒキガエルを飼う時に気づきとして発言した姿に驚いた。子どもとかかわる中で、その時の子どもたちが何を感じているのか、何を考えているのかを大切に保育していきたいと感じた。

・ヒキガエルの飼育、観察は主に虫好きの子が中心に行っていた。苦手な子も下駄箱においてある虫かごを見ながら、様子を保護者に報告していたり、他クラス児がうわさを聞いて興味を示したりと、小さな活動の輪が子どもたちだけの力で大きく広がっていった。保育者は必要な時に手を差し伸べられるよう、子どもの小さなつづきや、発見を見逃さないようにすることが大切であり、子どもの姿から翌日以降の保育を組み立てることで連続的な活動につながると感じた。